

現在の景気：県内景気は、全体として持ち直しの動きが続いている。非製造業では、行動制限の緩和が維持される下で、観光や飲食などの対面サービス業を中心に回復基調にあるほか、百貨店の季節物衣料などの販売も上向いている。製造業では、輸出回復などに支えられた改善基調を概ね維持している。この間、建設需要は、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展や都市部を中心とした堅調な住宅ニーズなどを背景に、底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：対面サービス業など非製造業の業況は、感染が落ち着き傾向を保つことなどを前提に、持ち直しの動きが続くとみられる。この間、製造業では標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、ウクライナ情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇など、世界貿易の下振れリスクを十分に注視する必要がある。

個人消費：①上向き。②8月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比 19.7%増と 10 か月連続で前年を上回った（19 年比では 16.6%減）。外出機会の増加により、夏物衣料・雑貨や化粧品が好調だったほか、高額品の堅調も続いた。9 月入り後も秋冬衣料などを中心に堅調が続いている。8 月の自動車登録台数は同 12.1%減と、世界的な部品の調達難などに伴う生産計画未達の影響により 14 か月連続で前年を下回った（19 年比では 28.2%減）。軽乗用車（前年同月比 3.2%減）は 3 か月ぶりに減少し、一般乗用車（同 19.3%減）は 12 か月連続で前年を下回った。

住宅建築：①増加基調。②8月の新設住宅着工戸数は前年同月比 8.9%増加し、2 か月連続で前年を上回った。持家（同 16.9%減）は減少したが、貸家（同 26.7%増）、分譲（同 10.3%増）が増加した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、8月の工事床面積（年度累計）は前年度比 14.5%減少し、工事予算額も同 16.0%減少した。千葉経済センターによる県内企業 216 社アンケート調査（7 月実施）では、22 年度の設備投資計画（6 月末時点）は、期初計画比（全産業）では 1.4%の減額修正となったが、21 年度実績額を 69.7%上回っている。

公共工事：①増加。②8月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比 9.0%増加した。国（同 2.2%減）は減少したが、独立行政法人等（同 84.2%増）、市町村（同 8.0%増）、県（同 2.4%増）は増加した。

輸出：①増加。②8月の成田、千葉、木更津 3 港合計通関輸出額は、前年同月比 28.5%増と 18 か月連続で増加した（19 年比は 52.0%増）。成田空港では、半導体等製造装置（前年同月比 35.6%増）や科学光学機器（同 14.4%増）を中心に同 26.0%増と 18 か月連続で前年を上回り、8 月として過去最大となった。千葉港は、石油製品（同 172.3%増）や有機化合物（同 56.4%増）などの増加により、同 86.5%増と 16 か月連続で前年を上回った。一方、木更津港は、自動車（同 4.1%増）は増加したものの、鉄鋼（同 25.5%減）が減少したことで、同 19.0%減と 17 か月ぶりに前年を下回った。

生産活動：①増加。②7月の県鉱工業生産指数（季調済）は、96.8（前月比 0.3%上昇）と 5 か月連続で上昇した。鉄鋼業（同 4.0%低下）、汎用・業務用機械工業（同 4.9%低下）などは低下したが、化学工業（同 2.8%増）、金属製品工業（同 1.3%上昇）などが上昇した。

観光：①持ち直し。②観光・宿泊施設の入り込みは個人客を中心に持ち直しつつある。需要回復を後押しする県民割「千葉とく旅キャンペーン」の利用期限が、10 月 10 日まで延長される中で、3 年ぶりの行動制限が緩和された観光シーズンを迎え、県内各地でイベントの復活等が相次いだ。御宿町では「おんじゅく伊勢えび祭り」（9 月 1 日～10 月 31 日）の野外イベントが 3 年ぶりに再開され、船橋市では「ふなばしハワイアンフェスティバル」（17 日）が 3 年ぶりに開催されて賑わった。このほか東京ディズニーリゾートでは規模を縮小していたハロウィンイベントが 3 年ぶりに完全復活した（9 月 15 日～10 月 31 日）。

雇用情勢：①改善基調。②8月の有効求人倍率（季調値）は、前月と変わらず 0.99 倍となった。有効求人数の減少幅（同 0.5%減）が有効求職数（同 0.4%減）の減少幅を上回った。

【トピックス】

○ 県が発表した県内基準地価（7 月 1 日時点）は、住宅地が前年比 1.0%上昇し、3 年ぶりに上昇に転じた。上昇率が 1%を超えるのは 15 年ぶり。住宅地における最大の上昇率は浦安市の 6.6%であった（20 日）。

○ 経済産業省と国土交通省は、「九十九里沖」を洋上風力発電の「有望区域」に指定した（これまでの「情報提供区域」から格上げ）。「有望区域」の指定は、「銚子市沖」、「いすみ市沖」に続き県内 3 か所目（30 日）。